



2022年6月10日

各 位

会社名 株式会社トーホー
代表者 代表取締役社長 古賀 裕之
(コード番号 8142 東証プライム)
問合せ先 取締役 財務部担当 佐藤 敏明
(TEL 078-845-2431)

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年3月10日に公表いたしました連結業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2023年1月期第2四半期連結累計期間 業績予想数値の修正(2022年2月1日~2022年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 94,800	百万円 △700	百万円 △600	百万円 △800	円銭 △74.37
今回修正予想 (B)	96,200	400	500	150	13.94
増減額 (B-A)	1,400	1,100	1,100	950	
増減率 (%)	1.5	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年1月期第2四半期)	89,786	△1,113	△734	△770	△71.61

(2) 2023年1月期通期連結 業績予想数値の修正(2022年2月1日~2023年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 200,000	百万円 500	百万円 650	百万円 100	円銭 9.30
今回修正予想 (B)	201,000	1,200	1,350	400	37.19
増減額 (B-A)	1,000	700	700	300	
増減率 (%)	0.5	140.0	107.7	300.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年1月期)	188,567	△446	178	335	31.20

(3) 修正の理由

2022年3月10日に公表いたしました2023年1月期の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け先行きの不透明感が拭えない一方で、3回目以降のワクチン接種が進み、治療薬の普及についても期待される状況から、ウィズコロナへの転換が社会全体でさらに浸透し、飲食業界に対する以前のような厳しい自粛要請などは出ず、当下半期以降は一定の落ち着きを取り戻すとの前提で連結業績予想値を算出いたしました。しかしながら、全国的なまん延防止等重点措置が2022年3月21日に全面解除されて以降は、人流が増加する中で外食産業の景況感が徐々に上向き、当社グループの主要事業である業務用食品卸売事業につきましても業況の改善が進みました。

以上のような状況から、2023年1月期の第2四半期連結業績につきましては、前回公表値を上回る見込みであります。

2023年1月期通期連結業績見通しにつきましては、当下半期以降はウィズコロナが社会全体でさらに浸透し、当社グループの主要な販売先である外食事業者の経営環境も緩やかに回復して一定の落ち着きを取り戻すとの当初想定に変化はないものの、電力価格の上昇等当初見通しを上回るコストアップの影響や一部事業の業績回復が遅れている点を考慮し、算出いたしました。

2. 配当予想の修正

(1) 2023年1月期 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2022年3月10日発表)	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —
今回修正予想	5.00	5.00	10.00
当期実績			
(ご参考) 前期実績 (2022年1月期)	0.00	5.00	5.00

(2) 修正の理由

当社は、事業活動を安定的に継続する上で維持すべき適正な資本構成を勘案し、ネットDEレシオ（純有利子負債／純資産）が0.7～0.9倍程度で推移する状況において、中期的に配当性向40%程度を維持する方針の下で安定配当を実施しております。

2023年1月期第2四半期末の配当につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を見極めつつ検討することで利益配当金の予想額を未定としておりましたが、本日公表の「2023年1月期 第1四半期決算短信（連結）」の2023年1月期の連結業績予想（2022年2月1日～2023年1月31日）にて、第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益を150百万円に上方修正したことから、2023年1月期第2四半期末配当の予想につきましては、当初の未定から1株当たり5円に修正することといたしました。

これにより、1株当たり年間配当金額の見込みにつきましては、5円から10円といたします。

※上記の業績予想および配当予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上